



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月5日

上場会社名 イフジ産業株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 2924

URL <https://www.ifuji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 宗徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,225	58.0	895	12.6	901	12.6	629	15.4
2025年3月期第1四半期	5,204	△25.6	795	6.7	800	4.2	545	△21.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 618百万円(14.7%) 2025年3月期第1四半期 539百万円(△23.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	77.36	—
2025年3月期第1四半期	65.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	17,619	11,462	65.1
2025年3月期	16,749	11,161	66.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 11,462百万円 2025年3月期 11,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	26.00	—	40.00	66.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	32.00	—	35.00	67.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,781	24.3	1,340	△12.0	1,339	△12.7	912	△11.9	112.13
通期	27,771	8.7	2,689	△10.3	2,679	△12.1	1,827	△13.1	224.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	8,345,370株	2025年3月期	8,345,370株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	209,251株	2025年3月期	209,251株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	8,136,119株	2025年3月期1Q	8,262,466株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業が賃上げに努めてはいるものの、賃金の上昇を上回る物価の上昇や、税金・社会保険料の増加等による可処分所得いわゆる手取りの減少、また人口減とそれに伴う労働力不足等により、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましては、運送費をはじめとした様々な経費や人件費の高騰の影響等により原材料価格や商品価格の値上げが続いております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、液卵事業において、液卵販売数量が過去最高になったことや、鶏卵相場が高値で推移し連動する液卵の販売単価も高値で推移したこと等により、前年同期比58.0%増の8,225百万円となり過去最高となりました。

損益につきましては、液卵事業において液卵の販売数量が増加したことや販売価格の改定を進めたこと等により、連結営業利益は同12.6%増の895百万円、連結経常利益は同12.6%増の901百万円となり、いずれも第1四半期累計期間において5期連続の増益で最高益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同15.4%増の629百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①液卵事業

鶏卵業界では、2024年10月から2025年2月における鳥インフルエンザの多発の影響を受け、引き続き鶏卵の極度の不足により鶏卵相場が高値で推移しております。

当セグメントの主要な商品は「食の半導体」である液卵であり、商品及び原料の数量全体の約80%について販売単価及び仕入単価が鶏卵相場に連動しております。そのため、販売単価と仕入単価の差益を一定額以上確保し、販売数量の確保に努めることで、利益の最大化を図っております。

当セグメントの事業規模を示す指標である液卵の販売数量につきましては、前年同期比10.3%増となり第1四半期連結累計期間としては過去最高となりました。これは主に、東日本を中心に鶏卵が不足したことにより他の液卵メーカーが液卵の供給を制限する事例が一部見られ、当社への注文が増加し、製パン向け、製菓向けに加え、外食向けや冷凍食品向けの液卵販売数量が増加したこと等によるものであります。

当セグメントの売上高につきましては、前述のとおり液卵の販売数量が過去最高になったことや、鶏卵相場が高値で推移したことに伴い鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も高値で推移したこと、また、食品メーカーに液卵を安定供給するために販売単価の改定を行ったこと等により、液卵売上高は前年同期比58.9%増の7,299百万円となりました。また、加工品売上高は、販売単価の改定の効果等により同49.7%増の343百万円、その他売上高は同3.2%減の75百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同57.5%増の7,718百万円となり過去最高となりました。

セグメント利益につきましては、鶏卵相場に連動する仕入単価が上昇したことに加え、液卵の安定供給のために高単価のスポット買付けが増加したものの、液卵の販売数量の増加や販売単価の改定等により、同15.9%増の886百万円となり5期連続の増益で最高益となりました。

②調味料事業

当セグメントの売上高につきましては、既存得意先への販売が減少したこと等により、前年同期比5.5%減の302百万円となりました。

セグメント利益につきましては、売上高の減少等により同31.4%減の20百万円となりました。

③オーガニックEC事業

当セグメントの売上高につきましては、冷凍フルーツの販売が好調に推移したこと等により225百万円となりました。

セグメント利益につきましては、のれんの償却額15百万円の計上等により11百万円の損失となりました。

なお、前中間連結会計期間より、当セグメントの主要な会社であるHORIZON FARMS株式会社の損益を新たに連結したことから、第1四半期連結累計期間における前期比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は17,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ870百万円増加しました。

流動資産は10,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ703百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加757百万円、受取手形及び売掛金の増加91百万円、商品及び製品の減少150百万円等によるものであります。

固定資産は6,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加91百万円、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の増加131百万円、繰延税金資産の減少46百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ568百万円増加しました。

流動負債は4,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加314百万円、短期借入金の増加598百万円、未払法人税等の減少380百万円等によるものであります。

固定負債は1,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ282百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加280百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は11,462百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益629百万円の計上及び配当金325百万円の支払により利益剰余金が303百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、業績は概ね順調に推移しており、2025年5月7日に公表した業績予想から変更はしておりません。

なお、鳥インフルエンザの影響による鶏卵の供給不足が続いており、今後も需給の予測が難しい状況となっております。今後、開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055	4,812
受取手形及び売掛金	3,911	4,003
商品及び製品	1,288	1,137
仕掛品	115	122
原材料及び貯蔵品	542	530
その他	66	77
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	9,967	10,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,968	1,966
機械装置及び運搬具（純額）	1,612	1,704
土地	1,857	1,857
リース資産（純額）	3	3
その他（純額）	597	741
有形固定資産合計	6,039	6,272
無形固定資産		
のれん	456	440
その他	9	9
無形固定資産合計	466	450
投資その他の資産		
投資有価証券	175	173
繰延税金資産	87	40
その他	14	13
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	276	226
固定資産合計	6,782	6,949
資産合計	16,749	17,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191	1,505
短期借入金	1,160	1,758
1年内償還予定の社債	16	16
リース債務	1	1
未払法人税等	626	245
賞与引当金	195	212
役員賞与引当金	—	13
その他	1,358	1,082
流動負債合計	4,549	4,835
固定負債		
社債	40	40
長期借入金	911	1,191
リース債務	2	2
その他	84	87
固定負債合計	1,038	1,321
負債合計	5,588	6,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	414	414
利益剰余金	10,523	10,827
自己株式	△297	△297
株主資本合計	11,096	11,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	62
その他の包括利益累計額合計	64	62
純資産合計	11,161	11,462
負債純資産合計	16,749	17,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,204	8,225
売上原価	3,770	6,570
売上総利益	1,433	1,655
販売費及び一般管理費	638	760
営業利益	795	895
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	0	—
受取賃貸料	4	4
助成金収入	—	2
その他	2	4
営業外収益合計	8	11
営業外費用		
支払利息	3	5
営業外費用合計	3	5
経常利益	800	901
特別損失		
固定資産除売却損	19	—
特別損失合計	19	—
税金等調整前四半期純利益	781	901
法人税、住民税及び事業税	153	225
法人税等調整額	82	47
法人税等合計	235	272
四半期純利益	545	629
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	545	629

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	545	629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△11
その他の包括利益合計	△6	△11
四半期包括利益	539	618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539	618
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,900	304	—	5,204	—	5,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	15	—	19	△19	—
計	4,904	319	—	5,224	△19	5,204
セグメント利益	765	29	—	795	—	795

(注) セグメント売上高の調整額△19百万円は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,718	282	225	8,225	—	8,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	—	19	△19	—
計	7,718	302	225	8,245	△19	8,225
セグメント利益又は損失(△)	886	20	△11	895	—	895

(注) セグメント売上高の調整額△19百万円は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「オーガニックEC事業」セグメントに配分されたのれんの償却額は、15百万円、未償却残高は440百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	106百万円	145百万円
のれんの償却額	—	15

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業	
液卵	3,596	—	—	3,596
凍結卵	997	—	—	997
卵加工品	229	—	—	229
その他鶏卵関連	71	—	—	71
調味料	—	303	—	303
オーガニック商品	—	—	—	—
その他	6	0	—	6
顧客との契約から生じる収益	4,900	304	—	5,204
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,900	304	—	5,204

当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業	
液卵	6,120	—	—	6,120
凍結卵	1,179	—	—	1,179
卵加工品	343	—	—	343
その他鶏卵関連	69	—	—	69
調味料	—	281	—	281
オーガニック商品	—	—	225	225
その他	6	0	—	6
顧客との契約から生じる収益	7,718	282	225	8,225
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,718	282	225	8,225